

第23回大阪私立中学校高等学校弓道記念大会

男子団体準優勝！男子個人5位入賞！

7月15日(月)に、第23回大阪私立中学校高等学校弓道記念大会が行われました。高校生は男子129名、女子141名、合計270名、中学生は、男女合わせて30名、合計300名の参加でした。

団体戦は、2立で予選を行い、上位8チームが決勝トーナメントに進出、個人戦は8射5中で決勝競射に進出となります。本校は男子団体に2チーム、女子団体に1チームが出場、個人戦には、男子7名、女子3名が出場しました。また、今回1年生4名(男子3名、女子1名)が、公式戦デビューを果たしました。

まずは団体戦予選(個人戦の予選も兼ねる)です。男子Aチーム(2年樋田、2年小野原、3年島本)は、6中、7中の合計13中、Bチーム(2年廣橋、1年前田、1年流)は、3中、10中の合計13中とし、予選3位、4位で2チームとも決勝トーナメント進出を決めました。女子Aチーム(2年鷺島、2年山田、1年須田)は2中、3中の合計5中で、予選敗退となりました。全体の的中が低かったこともありますが、2チームとも決勝トーナメントに進出できたことは、本校も地力が付いてきたということでしょうか。特にBチームの2立目の10中という的中は、1年生が2名というチーム編成を考えると大健闘の的中です。1年生にとっては、大きな自信となったと思いますし、2年廣橋も1年生に負けじと意地の皆中を出すなど、本当に応援していて楽しかったです。個人戦は、3年島本、2年樋田、2年廣橋の3名が予選を通過しました。

個人戦の決勝競射は、15名で行われました。各自1本ずつ引いて、外したものを脱落していき、順位を決定していきます。1本目、樋田が的中、島本、廣橋は外して脱落、この時点で、6名に絞られました。2本目、樋田は外し、5位、6位の遠近法による順位決定戦にまわり、見事5位入賞を果たしました。

団体戦の決勝トーナメントは、最初の試合が準々決勝となります。英真B対浪速E、英真A対大阪青凌Cという組合せとなりました。4位まで表彰されるので、この準々決勝に勝つか負けるかでは大きな差があり、非常に重要な試合となります。

まずは英真Bチームです。相手は強豪の浪速高校です。さすがに力の差は致し方なく、完敗でした。しかし、初めての試合だった1年生2名を2年廣橋が引っ張り、堂々と戦ったと思います。

英真 A チームは今回、“勝ち”に来たにも関わらず、予選は通過したものの思うような中が出ず、しかも B チームと同中となるなど、自分達の不甲斐なさに心中穏やかではなかったと思います。その気持ちを準々決勝にぶつけたのか、大阪青凌 C に対して、10 中という高的中で快勝しました。続く準決勝は、大阪学院高校との対戦となりました。高的中の後というのは得てして的中が伸びないのですが、今回もその通りとなり厳しい的中でしたがなんとか勝利し、見事決勝進出を決めました。

決勝の相手は、予選トップ通過の大阪青凌 A チームです。本校は、初めての決勝戦という緊張感と、準決勝で崩れた調子を立て直すことが出来ず、5 中对 9 中で完敗でした。

今回の準優勝という結果は、創部 2 年ちょっとの本校にとっては出来すぎです。準決勝、決勝の的中は、満足いくものではありませんが、本当によく頑張ったと思います。でも、本校弓道部の立ち上げから、先頭に立って弓道部を引っ張ってきた島本が、決勝戦で残念な結果を出してしまい、悔しい思いをし、また、責任を感じているのではないのでしょうか。でもここまでチームを引っ張ってきたのは、間違いなく島本です。責任を感じる必要はありません。でも、このままで終わるなよ、島本。試合での悔しさは、試合で晴らせ！。

『私の最大の光栄は一度も失敗しないことではなく、倒れるごとに起きあがることにある。』

